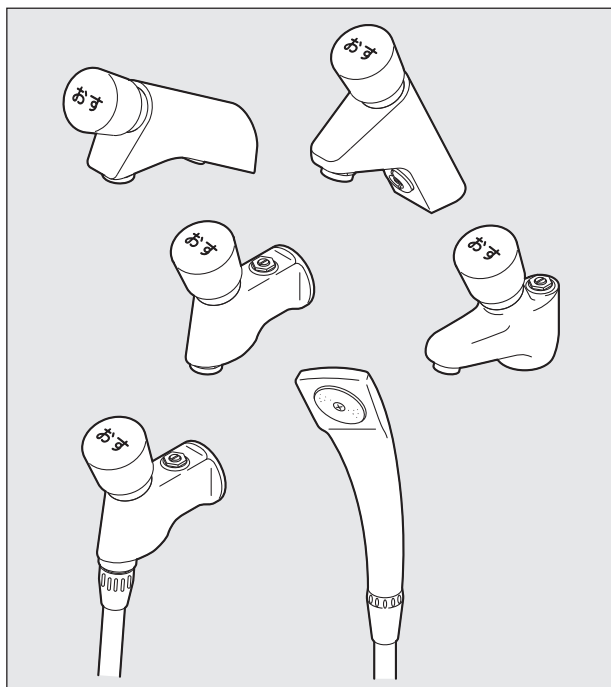


自閉式横水栓	Y1966-13・Y196C-13
自閉式立水栓	Y5966-13・Y596C-13
自閉式ハンドシャワー	S302C-6-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



—お客様へ—

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
 なお、保証書にお買上げ（据付け引渡し）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

—工事店様へ—

施工後、保証書に貴店名ならびに据付け引渡し年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称	1~2
寸法図	3~4

施工について

施工に関する安全上のご注意	5
適切な使用条件	6
施工前のご注意	6
梱包明細	7~8
施工手順	9~15

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意	16~18
吐水・止水	19
流量（水勢）・吐出量（吐水時間）の調節	19~20
凍結予防	21

日頃のお手入れ

日頃のお手入れ	21
ストレーナ・吐水口の掃除	22~23
自閉カートリッジの掃除	24~25

定期的な点検

可動部分の点検	26
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ	26

定期的な部品交換

逆止弁の交換（自閉式シャワー水栓の場合）	26
----------------------	----

こんなときは

故障？ その前に	27
本製品の構造	28~29

保証とアフターサービス

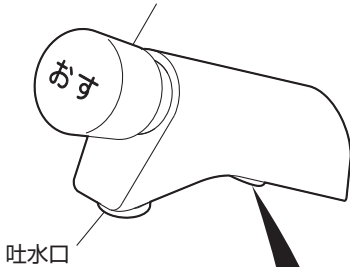
保証とアフターサービス	33
無料修理規定	34
保証書	裏紙

ハンドルを押すだけで一定量の水が出て、自動的に止まる水栓です。衛生的で節水に役立ちます。

■ 自閉式横水栓

自閉ハンドル：

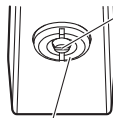
押すと一定量の水が出て、自動的に止まります。参照：P19



■ 自閉式立水栓

自閉ハンドル：

押すと一定量の水が出て、自動的に止まります。参照：P19



流量調節栓：

ドライバーでまわす事により流量（水勢）を調節したり、配管からの水を止める事ができます。

参照：P19

ストレーナ：

配管からのゴミがたまり、水の出が悪くなった時に調べます。参照：P22



自閉ハンドル

吐出量調節ネジ：

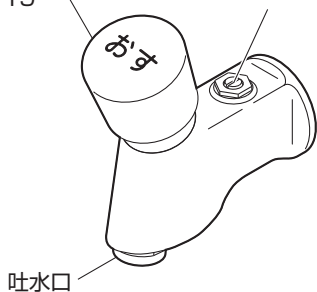
ドライバーでまわす事により1回の吐出量（吐水時間）を調節する事ができます。参照：P20

■ 自閉式横水栓

自閉ハンドル：

押すと一定量の水が出て、自動的に止まります。

参照：P19



流量調節栓：

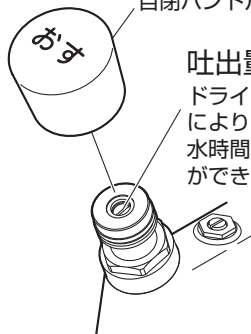
ドライバーでまわす事により流量（水勢）を調節したり、配管からの水を止める事ができます。

参照：P19

自閉ハンドル

吐出量調節ネジ：

ドライバーでまわす事により1回の吐出量（吐水時間）を調節する事ができます。参照：P19



■ 自閉式立水栓

自閉ハンドル：

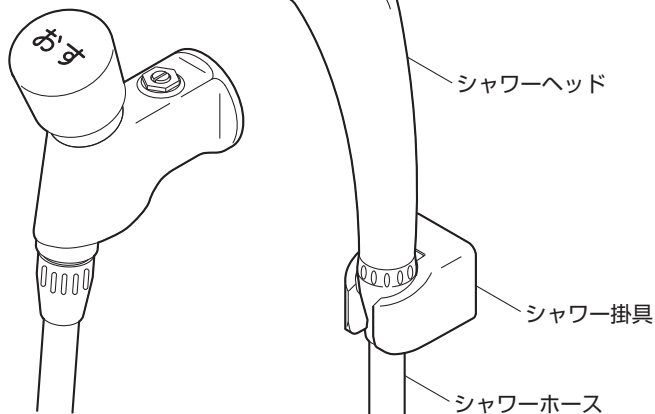
押すと一定量の水が出て、自動的に止まります。参照：P19

流量調節栓：

ドライバーでまわす事により流量（水勢）を調節したり、配管からの水を止める事ができます。参照：P19



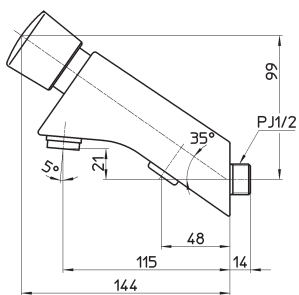
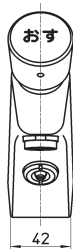
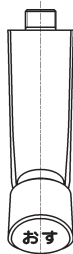
■ 自閉式ハンドシャワー



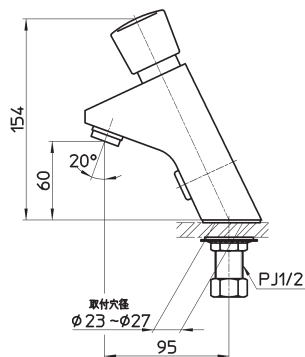
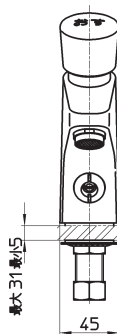
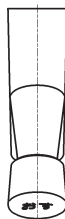
本製品について 寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。

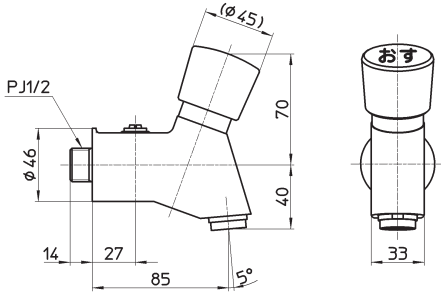
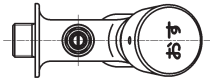
■ Y1966-13



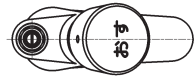
■ Y5966-13



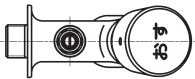
■ Y196C-13



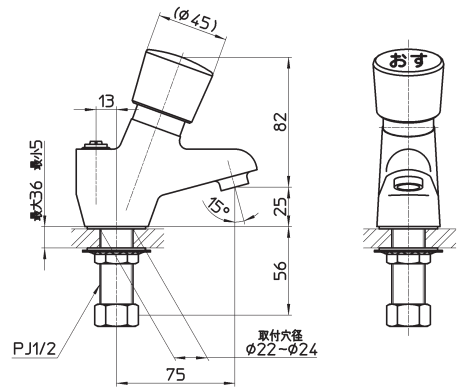
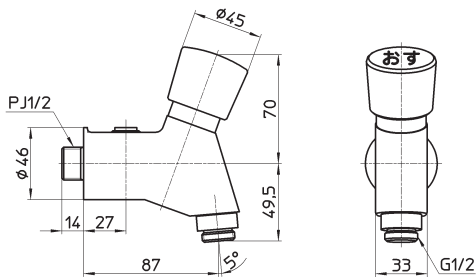
■ Y596C-13



■ S302C-6-13







ホース長さ1600



- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

注意



修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。
誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。



凍結が予想される地域には、取付けしないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナを緩めずに、
流量調節栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P22

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧（流動圧）	最高使用水圧（静水圧）
	0.1MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	60℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水（温泉水を除く）
用途	公共・一般住宅用



注意

温泉水は使用しないでください。

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

シャワーなしの場合

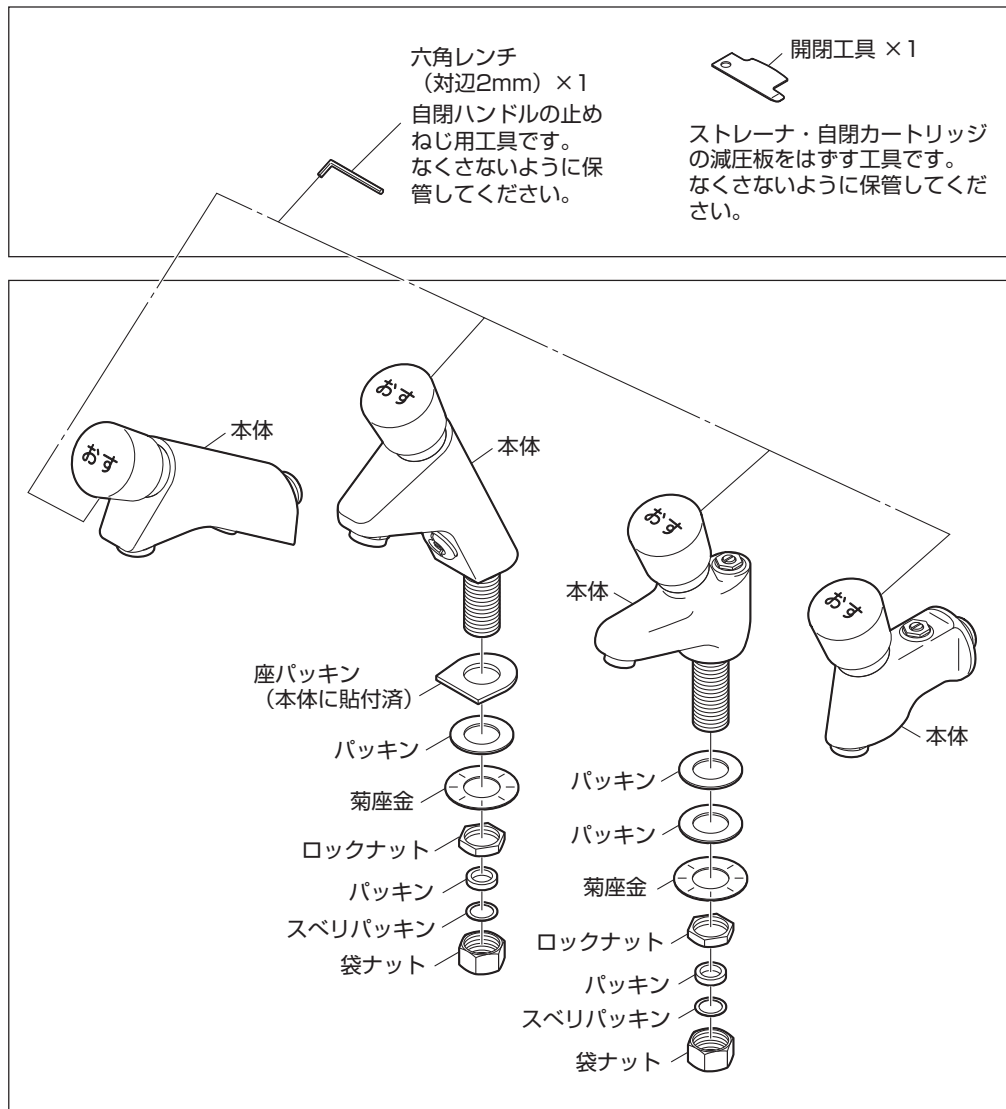
●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

六角レンチ
（対辺2mm）×1
自閉ハンドル
の止め
ねじ用工具です。
なくさないように保
管してください。



開閉工具 ×1

ストレーナ・自閉カートリッジ
の減圧板をはずす工具です。
なくさないように保管してくだ
さい。



本体 ×1

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

シャワー付の場合

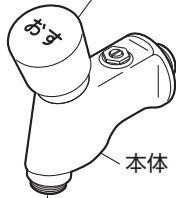
●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

六角レンチ
（対辺2mm）×1

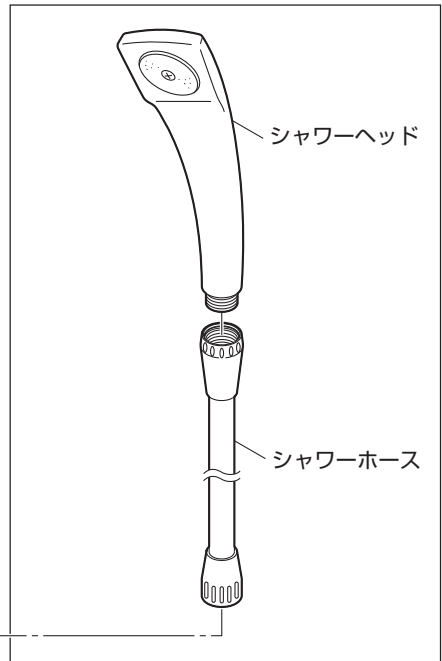
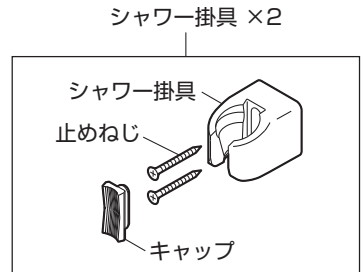
自閉ハンドルの止め
ねじ用工具です。
なくさないように保
管してください。

開閉工具 ×1

ストレーナ・自閉カート
リッジの減圧板をはず
す工具です。
なくさないように保管し
てください。



本体 ×1



シャワーセット ×1

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

主な工具類

自閉式横水栓タイプ

■ シールテープ：

水栓取付足を配管に取付ける際に必要です。

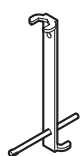


SANEI品番：
PP75-1S (シールテープ)

自閉式立水栓タイプ

■ ナット締付工具：

水栓取付足のロックナットをまわす時に必要です。



ロックナット
対辺24mm

ナット締付工具
SANEI品番：R354
(ナット締付工具)

■ スパナ・モンキーレンチなど：

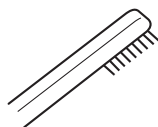
水栓取付足の袋ナットがまわせる工具。



SANEI品番：
PR3350
(水栓スパナ)

■ 使い古しのハブラシなど：

取付穴周囲などの掃除ができるもの。



■ 手袋：

ケガ防止のために着用してください。



■ タオルなど：

ケガ防止や水栓保護のために使用します。



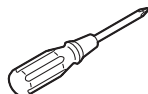
■ ぞうきんなど：

配管中の残り水を拭くのに使用します。

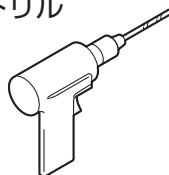


シャワー掛具を取付ける場合に必要の工具 (参照：P15～16)

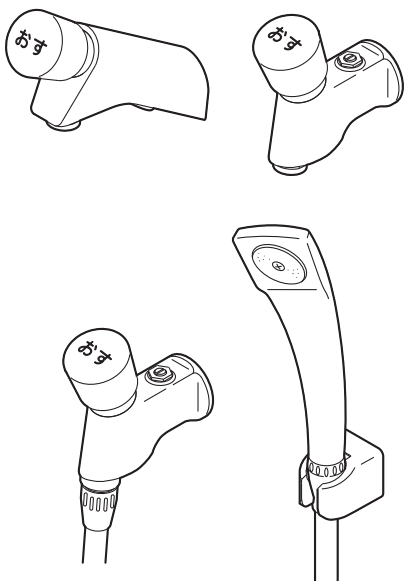
■ プラスドライバー



■ 電動ドリル

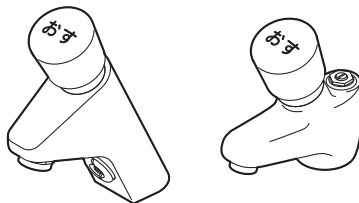


自閉式横水栓タイプ・
自閉式シャワー水栓タイプ



↓
① にすすむ

自閉式立水栓タイプ



↓
② にすすむ

① 自閉式横水栓タイプ
自閉式シャワー水栓タイプ

1 配管内の掃除をします。

注 意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

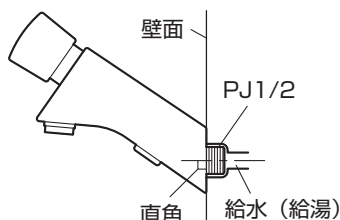
(元栓の開閉はP27を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

この場合には有償修理となります。



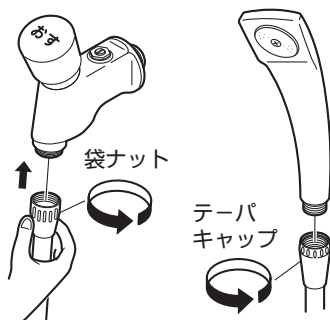
2 水栓・シャワーホース（シャワー水栓タイプの場合）を取付けます。



注意

- 壁面に対して直角に取付けてください。
- シールテープを巻いてください。

■シャワー水栓タイプの場合



注意

- 袋ナット・テーパキャップは短い方が本体側です。



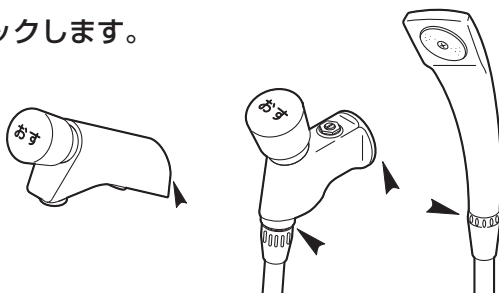
- 本体側の袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。

- シャワーヘッド・テーパキャップ・袋ナットは手でまっすぐにねじ込んでください。工具を使用したり、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。
- ホースのパッキンが入っている方を、本体に取付けてください。



3 元栓を開いて水漏れをチェックします。

接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



注意

- 初めて通水する時は、水栓内部に空気が残っているため、流量・吐出量が多めに出ます。流量・吐出量が安定するまで自閉ハンドルを数回押し、空気を抜いてください。
- 水栓内部の空気を抜いても湯水の出が悪かったり、止水しない場合はストレーナ・吐水口・自閉カートリッジの掃除が必要です。参照：P22～25

数回押し
空気を抜く



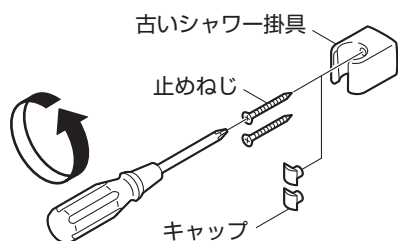
4 流量（水勢）・吐出量（吐水時間）の調節を行います。

自閉部は工場出荷前に調節済ですが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量（水勢）・吐出量（吐水時間）が得られない場合は調節が必要です。
参照：P19～20

シャワー水栓タイプの場合

5 シャワー掛具を取付けます。

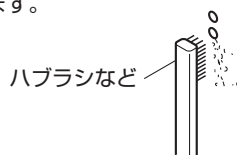
- (1) 古いシャワー掛具の止めねじをはずします。



⚠ 注意

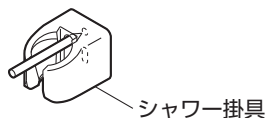
止めねじがない場合や止めねじをはずしてもシャワー掛具がはずれない場合は、接着剤などで固定している可能性があります。無理してはずそうとしないで、そのままお使いください。

- (2) 穴を掃除します。



■ 新設の場合

- ① シャワー掛具の位置を決め、ねじ取付位置に印を付けます。



- ② 印を付けた位置に電動ドリルなどで穴を開けます。
(コンクリートやタイル張りの場合は、超硬ドリルを使用します。)

手順③のアンカープラグ (市販) に適合するドリル径で開けてください。

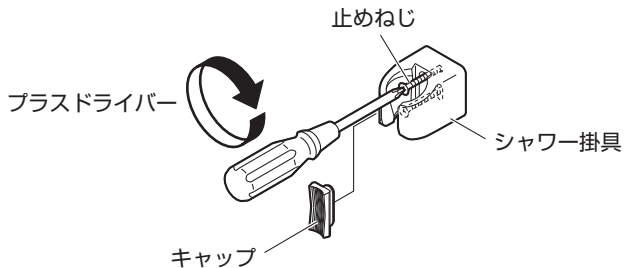


- ③ 電動ドリルなどで開けた穴にアンカープラグを差し込みます。

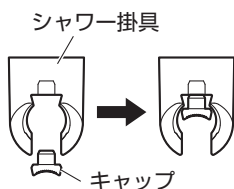
アンカープラグ (市販)
当社の止めねじ4.5×45
に対応するアンカープラグ
を使用してください。



- (3) シャワー掛具を止めねじでしっかりと固定します。
最後に穴をキャップでふさぎます。



- 1 キャップをシャワー掛具の穴に入れます。

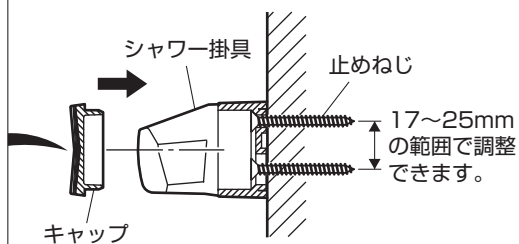


- 2 キャップの片側を入れます。



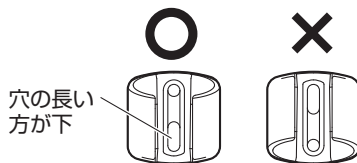
- 3 キャップの中心を押します。

中心を押す



⚠ 注意

シャワー掛具の向きに注意してください。
止めねじ穴の長い方が下です。



② 自閉式立水栓タイプ

1 配管内の掃除をします。

注意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(元栓の開閉はP27を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

この場合には有償修理となります。



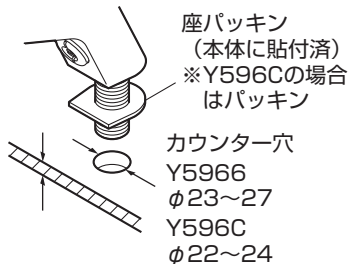
2 水栓を取付けます。

(1) カウンター穴の寸法の確認を行ってください。

注意

カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けてください。

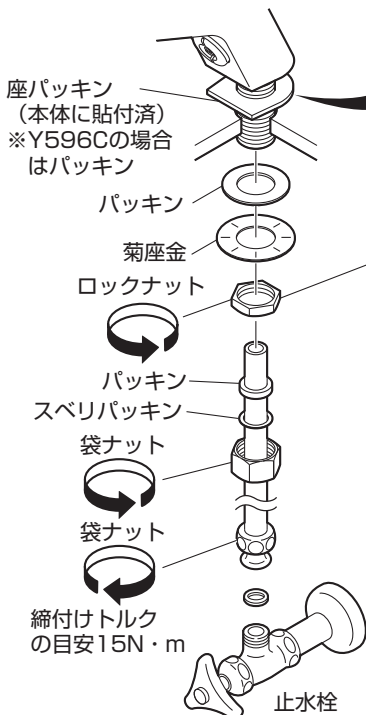
厚さ
Y5966
最小5mm
最大31mm
Y596C
最小5mm
最大36mm



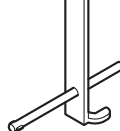
(2) 水栓が正面を向くように締付工具で固定してください。

注意

水栓本体に浮きがないよう注意してください。



ナット締付工具
SANI品番：R354 (ナット締付工具)

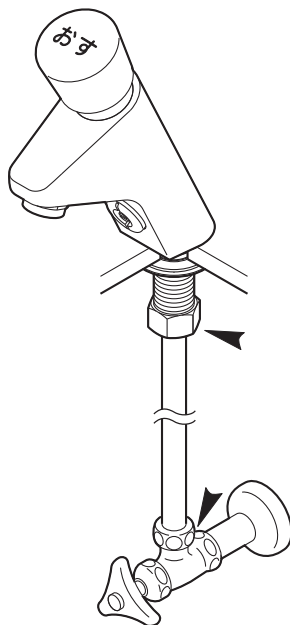


注意

- 緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

3 元栓を開いて水漏れをチェックします。

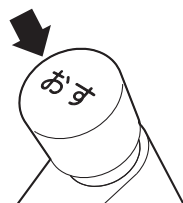
接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



⚠ 注意

- 初めて通水する時は、水栓内部に空気が残っているため、流量・吐出量が多めに出ます。流量・吐出量が安定するまで自閉ハンドルを数回押し、空気を抜いてください。
- 水栓内部の空気を抜いても湯水の出が悪かったり、止水しない場合はストレーナ・吐水口・自閉カートリッジの掃除が必要です。
参照：P22～25

数回押しして
空気を抜く



4 流量（水勢）・吐出量（吐水時間）の調節を行います。






自閉部は工場出荷前に調節済ですが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量（水勢）・吐出量（吐水時間）が得られない場合は調節が必要です。
参照：P19～20

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「指示した場所に触れてはいけません！」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。



注意



使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。



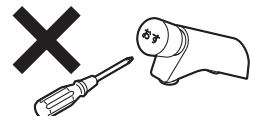
製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。



ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナを緩めずに、
流量調節栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P22



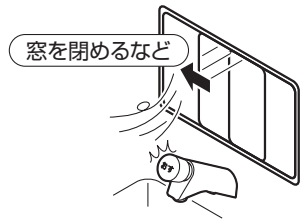
分解は、保守・点検の決められた項目以外
はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財
などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



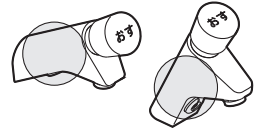
⚠️ 注意



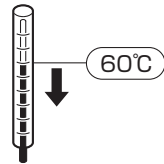
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：P21



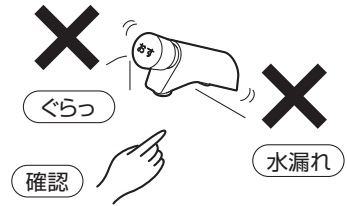
高温の湯をお使いのときは、水栓本体に直接肌を触れないでください。高温になっているのでやけどをするおそれがあります。



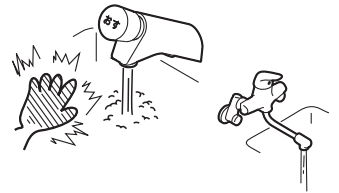
給湯温度は最高60℃まででお使いください。60℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。



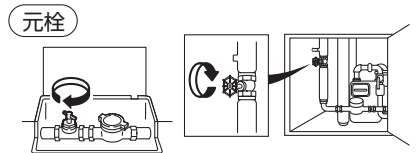
定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



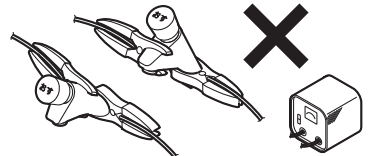
他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。



長期間使用しない時は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。



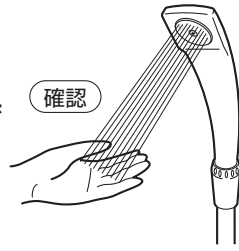
解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



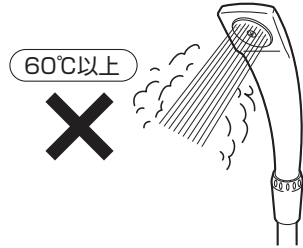
⚠️ 注意



(シャワー付の場合)
シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



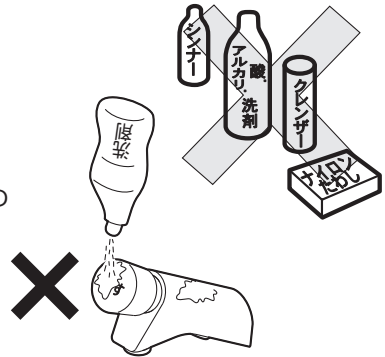
(シャワー付の場合)
シャワーには高温の湯(60℃以上)を通さないでください。
シャワーヘッドが破損して、やけどをするおそれがあります。安全のため、適温でのご使用をおすすめします。



本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

使用してはいけないもの

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど
本体の割れや変色変質の原因となります。



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。



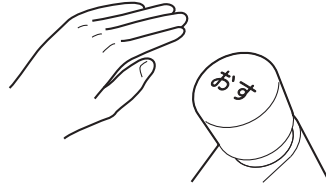
ご使用について

吐水・止水

自閉ハンドルを1回押すと、一定量の水が出て、自動的に止まります。

十分な流量（水勢）・吐出量（吐水時間）が得られない場合は調節が必要です。

参照：P19～20



ご使用について

流量（水勢）・吐出量（吐水時間）の調節

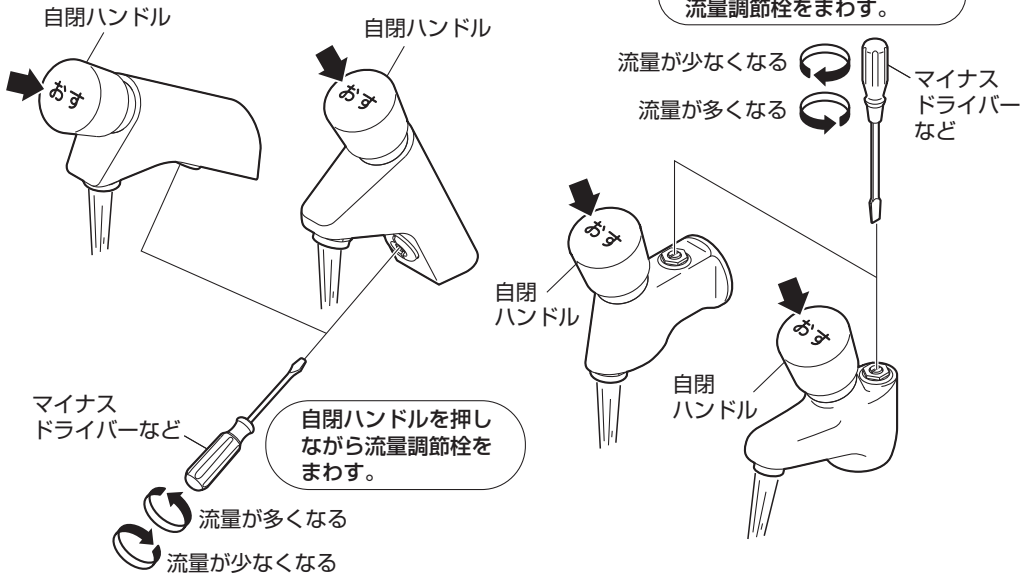
自閉部は工場出荷前に調節済ですが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量（水勢）・吐出量（吐水時間）が得られない場合は調節が必要です。

流量（水勢）の調節

使用時に水はねしない程度、または使用目的に応じ、流量調節栓で流量（水勢）を調節してください。配管からの水を止める事もできます。

自閉ハンドルを押しながら流量調節栓をまわし、好みの流量に調節します。

- 右にまわす……流量（水勢） 小
- 左にまわす……流量（水勢） 大



⚠ 注意

止水したまま流量調節栓を右へまわすと、水栓内部の圧力が高くなり自閉ハンドルが押せなくなります。そのような場合には、流量調節栓を左に戻せば押せるようになります。

吐出量（吐水時間）の調節

吐出量調節ネジで適当な吐出量（吐水時間）に調節してください。

- 1 自閉ハンドルを押して吐出量を確認めます。
- 2 付属の六角レンチで止めねじをゆるめて、自閉ハンドルをはずします。

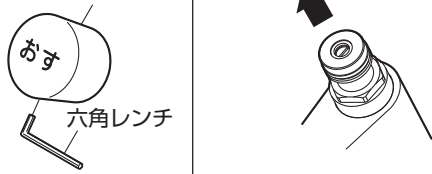
注意

止めねじの紛失に注意してください。
自閉ハンドルは止めねじを1回転程度ゆるめれば取りはずす事ができます。

- 2 自閉ハンドル

■ Y1966 タイプの場合

- 2 自閉ハンドル



- 3 吐出量調節ネジをまわし、好みの吐出量に調節します。

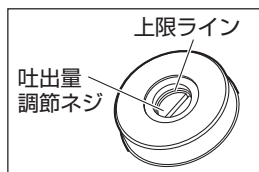
- 右にまわす……吐出量 大（吐水時間が長くなる）
- 左にまわす……吐出量 小（吐水時間が短くなる）

注意

- 施工条件により、正確な吐水時間は設定できません。
- 吐出量調節ネジを右へまわし過ぎると水が開放しになり、左にまわし過ぎると水が出なくなります。これは調節可能範囲を超えているためです。適当な吐出量に調節してください。
- 吐出量調節ネジが上限ラインを超えないようにしてください。



- 3 吐出量調節ネジ



- 4 自閉ボタンを押して吐出量を確認します。

注意

吐出量の確認は数回押してから確認してください。



- 5 調節が終わったら、取りはずしと逆の手順で取付けます。

注意

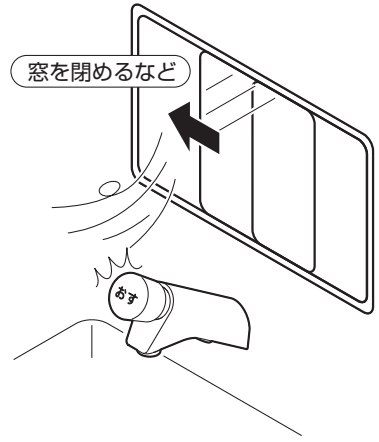
- 「おす」が正面を向くようにはめ込んでください。
- 六角部が見えなくなるまで押し込んでください。
- 止めねじがゆるまないよう十分に締付けてください。



ご使用について 凍結予防

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくとし、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠️ 注意



次のものは使用しないでください。
変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、
すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

すぐ拭く



ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。
 快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

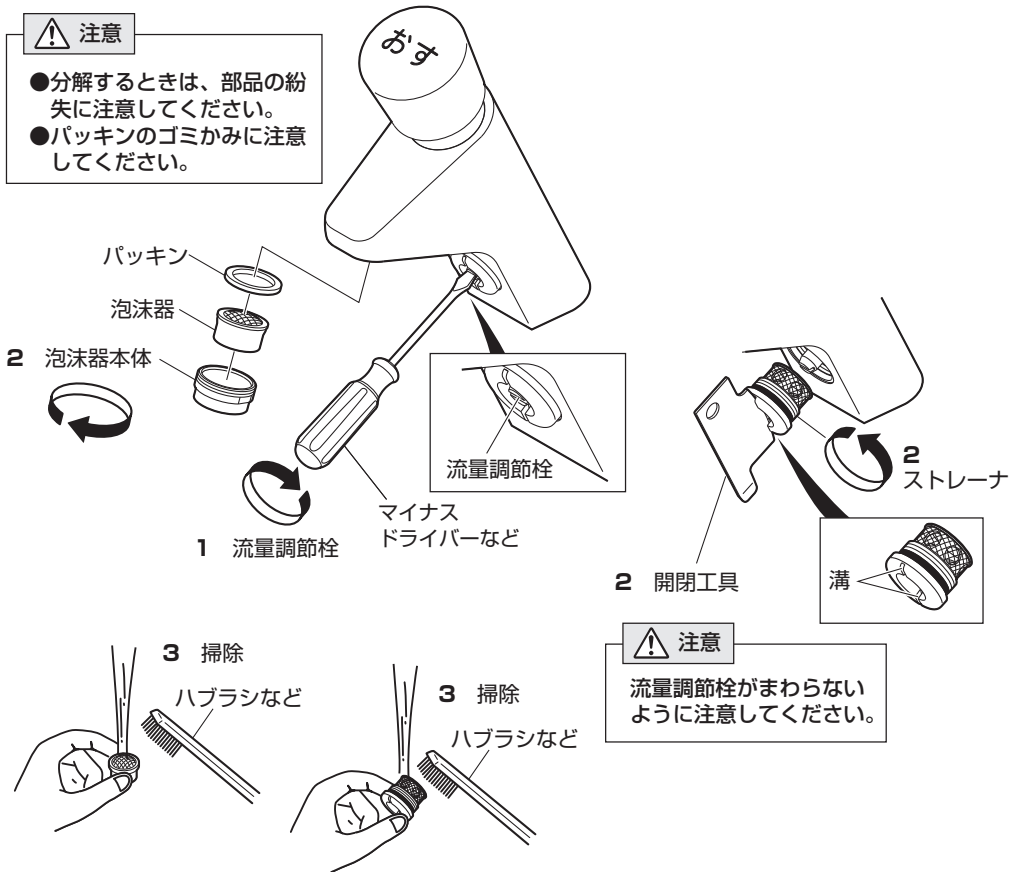
(近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

ストレーナ付の場合

- 1 ■吐水口を掃除する場合・・・止水状態であることを確認します。
 ■ストレーナを掃除する場合・・・流量調節栓を右にまわし、止水します。
- 2 泡沫器本体・(付属の開閉工具で)ストレーナをはずします。
- 3 ハブラシなどで網部分を掃除します。

⚠ 注意

- 分解するときは、部品の紛失に注意してください。
- パッキンのゴミかみに注意してください。



⚠ 注意

流量調節栓がまわらないように注意してください。

再使用时

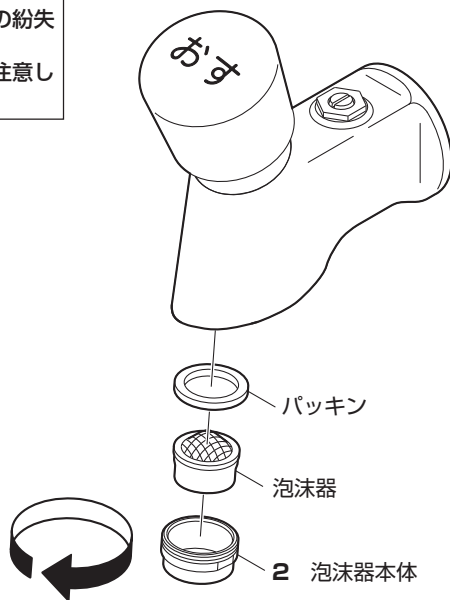
- 泡沫器本体・ストレーナが確実に閉まっているか確認してください。
- 十分な流量(水勢)が得られない場合は調節が必要です。参照:P19
- 自閉ハンドルを数回押し、空気を抜いてください。

ストレーナなし（自閉式横水栓）の場合

- 1 止水状態であることを確認します。
- 2 泡沫器本体をはずします。
- 3 ハブラシなどで網部分を掃除します。

⚠ 注意

- 分解するときは、部品の紛失に注意してください。
- パッキンのゴミかみに注意してください。



再使用时

- 泡沫器本体が確実に閉まっているか確認してください。
- 十分な流量（水勢）が得られない場合は調節が必要です。参照：P19
- 自閉ハンドルを数回押し、空気を抜いてください。

自閉カートリッジ内部の小穴がつまると吐出量（吐水時間）が多くなり、止水しないなど、十分な機能が発揮されません。自閉ハンドルを数回押し、空気を抜いても安定しない時にお調べください。

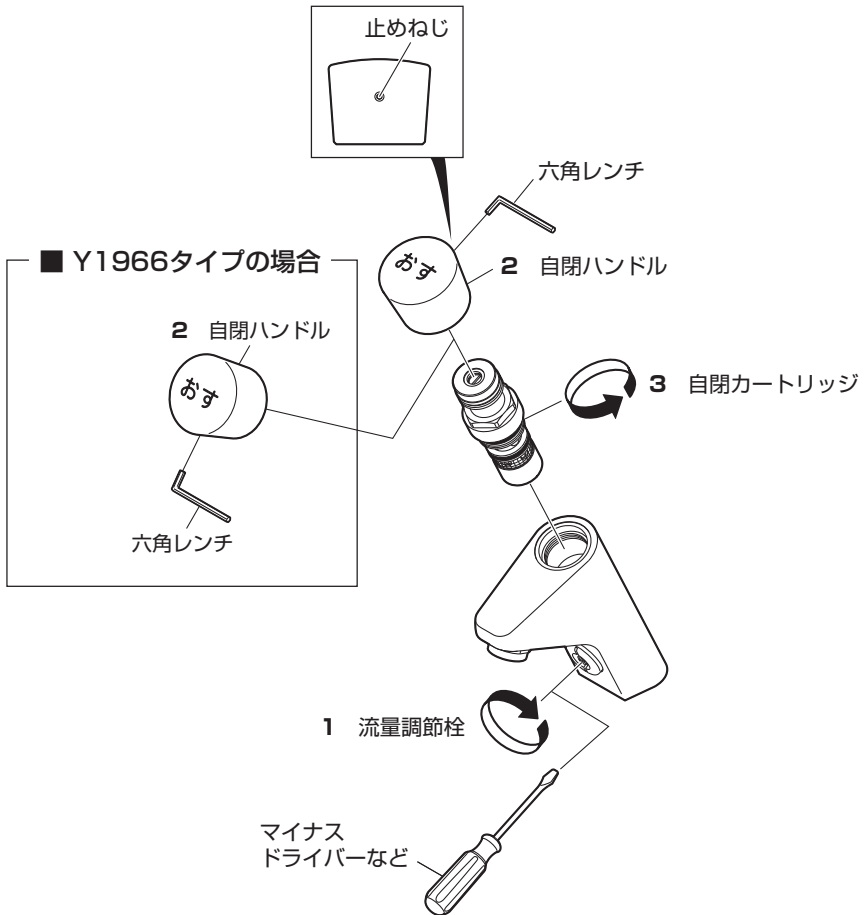
- 1 流量調節栓を右にまわし、止水します。
- 2 付属の六角レンチで止めねじをゆるめて、自閉ハンドルをはずします。
- 3 自閉カートリッジを水栓本体からはずします。



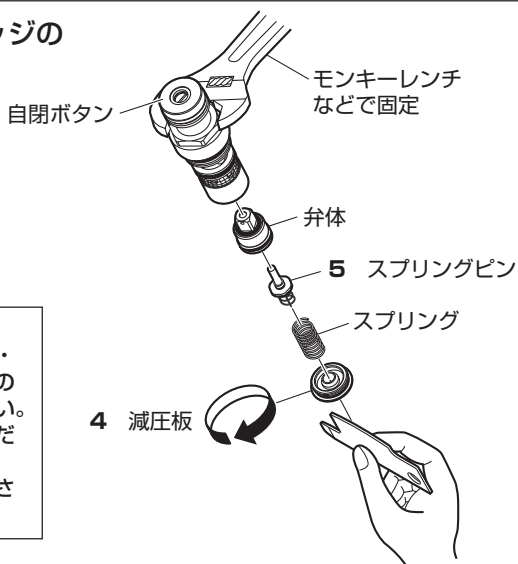
注意

止めねじの紛失に注意してください。

自閉ハンドルは止めねじを1回転程度ゆるめれば取りはずす事ができます。



4 付属の開閉工具で自閉カートリッジの減圧板をはずします。



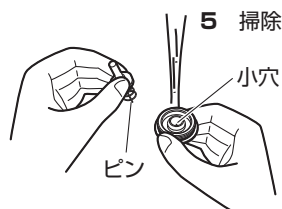
⚠ 注意

- 減圧板をはずすと内部からスプリング・スプリングピンおよび弁体が出てくるので、紛失しないように注意してください。
- ピンが折れ曲がらないよう注意してください。
- 自閉ボタンを押しながら減圧板をはずさないでください。

5 スプリングピンを用いて減圧板の小穴を掃除します。

⚠ 注意

- ピンが折れ曲がらないよう注意してください。
- ピンを伸ばさないでください。



6 ハブラシなどで自閉カートリッジの網部分を掃除します。



7 部品を元通り組付けます。

⚠ 注意

- スプリングピンを減圧板の小穴に確実に通してください。
- 自閉ハンドルは「おす」が正面を向くようにはめ込んでください。



再使用时

- 減圧板・自閉カートリッジが確実に閉まっているか確認してください。
- 十分な吐出量（吐水時間）が得られない場合は調節が必要です。参照：P20
- 自閉ハンドルを数回押し、空気を抜いてください。

定期的な点検

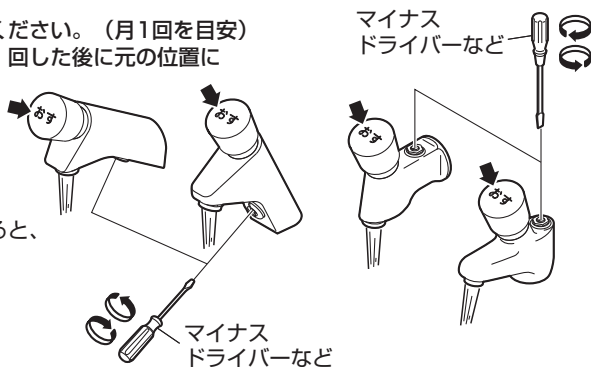
可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あかが固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P33)を参照し、修理をご依頼ください。流量調節栓の点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき流量調節栓を回してください。(月1回を目安)
流量調節栓を回す際は設定位置を確認し、回した後に元の位置に戻してください。参照:P19

流量調節栓を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

流量調節栓が回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P33)を参照し、修理をご依頼ください。



定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。

(年2回を目安)

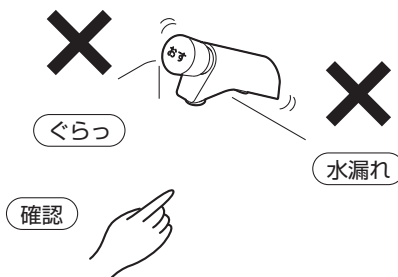
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。

(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

漏水を確認した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を閉めてください。参照:P27

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P33)を参照してください。



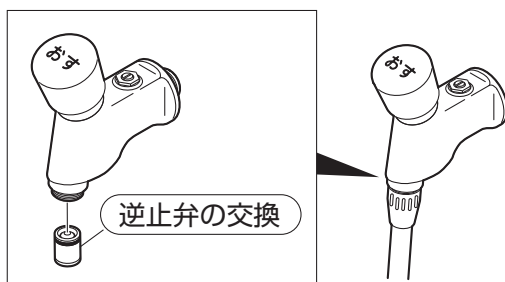
定期的な部品交換

逆止弁の交換時期 (自閉式シャワー水栓の場合)

逆止弁の交換時期の目安: 3~5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁の交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」(P33)を参照してください。



こんなときは 故障? その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量(水勢)が多い	流量(水勢)の調節は適当か。	流量調節栓で流量(水勢)の調節をする。参照：P19
流量(水勢)が少ない	流量(水勢)の調節は適当か。	流量調節栓で流量(水勢)の調節をする。参照：P19
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。参照：P22～23
1回の吐出量が多い	1回の吐出量の調節は適当か。	1回の吐出量の調節をする。参照：P20
	自閉カートリッジの小穴にゴミづまりはありませんか。	自閉カートリッジの掃除をする。参照：P24～25
1回の吐出量が少ない	1回の吐出量の調節は適当か。	1回の吐出量の調節をする。参照：P20
	自閉カートリッジのスプリングピンが抜けていないか。	自閉カートリッジの掃除をする。参照：P24～25
水が止まらない	自閉カートリッジの小穴にゴミづまりはありませんか。	自閉カートリッジの掃除をする。参照：P24～25
	自閉カートリッジのスプリングピンが曲がっていないか。	スプリングピンの曲がり直す。参照：P24～25
水が出ない	流量調節栓が閉まっていないか。	流量調節栓で流量(水勢)の調節をする。参照：P19
	吐出量調節ねじが上限ラインを超えていないか。	吐出量調節ねじを時計回りに回して1回の吐出量の調節をする。参照：P20



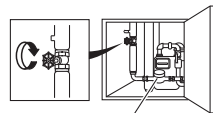
以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びハンドル上部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。ハンドル可動部からの水漏れの場合は、自閉カートリッジを交換してください。参照：P28～29
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。自閉カートリッジを交換してください。参照：P28～29
シャワーホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワーホースを交換してください。参照：P28～29

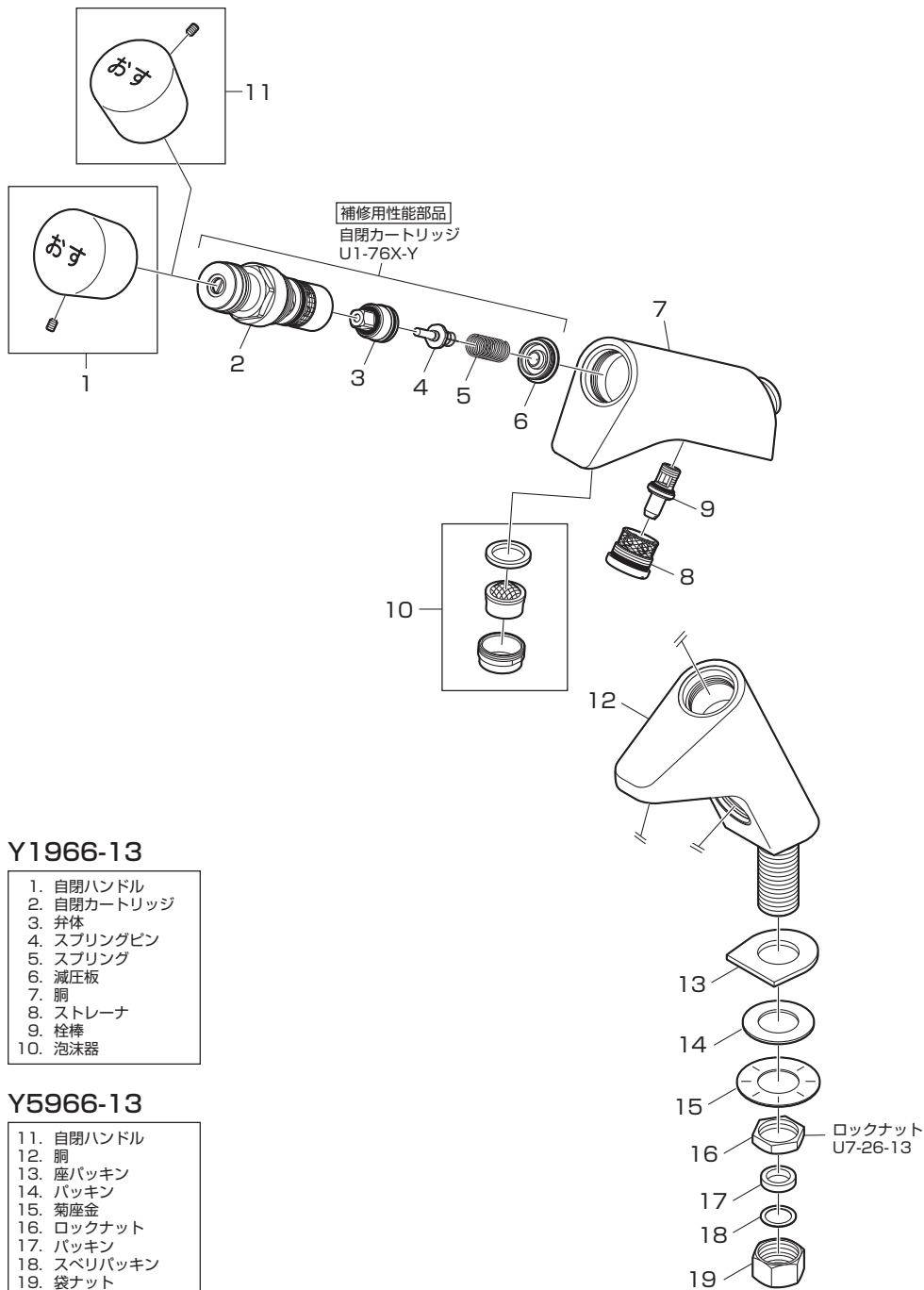
漏水した場合の処置

漏水した場合は、流量調節栓または配管中の元栓を開めてください。

流量調節栓の閉め方	元栓の閉め方
「流量(水勢)の調節」を参照してください。参照：P19	<p>元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。 ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。 ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。 ※一部の地域では左まわしの場合があります。 ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。</p> <p>■戸建て住宅などの元栓ボックス： 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあたりします。</p> <p>■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス： 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。</p>
	<p>●キー式</p>  <p>●ハンドル式</p>  <p>水道メーター(量水器)</p>  <p>水道メーター(量水器)</p>

こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

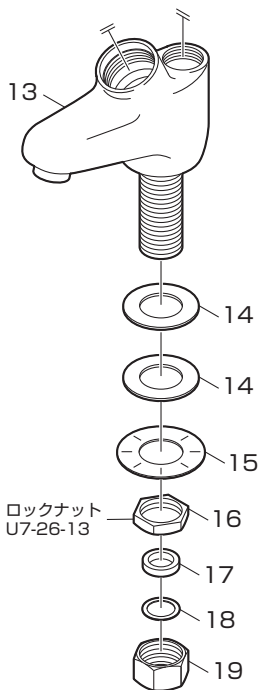
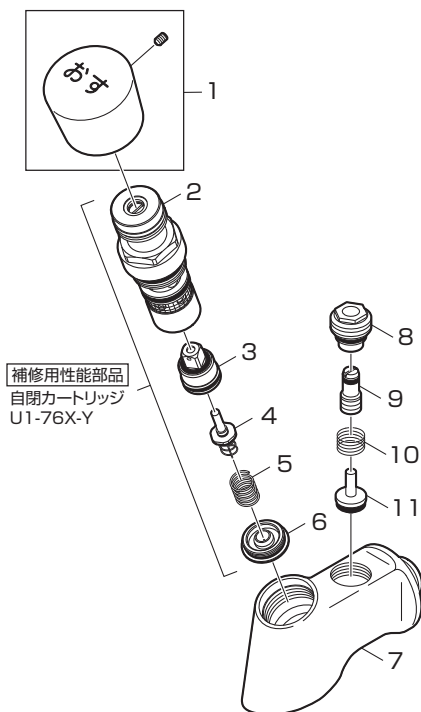


Y1966-13

1. 自閉ハンドル
2. 自閉カートリッジ
3. 弁体
4. スプリングピン
5. スプリング
6. 減圧板
7. 胴
8. ストレーナ
9. 栓棒
10. 泡沫器

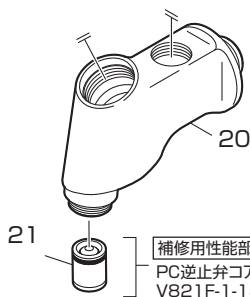
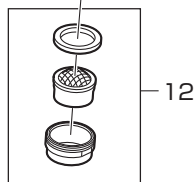
Y5966-13

11. 自閉ハンドル
12. 胴
13. 座パッキン
14. パッキン
15. 菊座金
16. ロックナット
17. パッキン
18. スベリパッキン
19. 袋ナット



Y196C-13

1. 自閉ハンドル
2. 自閉カートリッジ
3. 弁体
4. スプリングピン
5. スプリング
6. 減圧板
7. 胴
8. 逆止本体
9. スピンドル
10. スプリング
11. ケレップ
12. 泡沫器



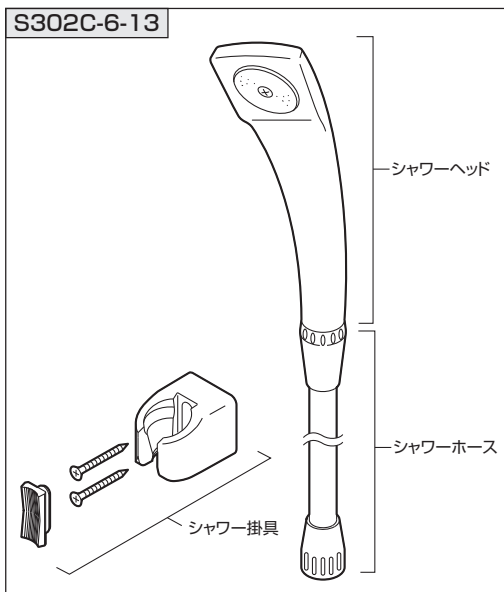
Y596C-13

13. 胴
14. パッキン
15. 菊座金
16. ロックナット
17. パッキン
18. スペリパッキン
19. 袋ナット

S302C-6-13

20. 胴
21. 逆止弁コア

●S302C-6-13は自閉カートリッジ
品番U1-76Xを使用しています。



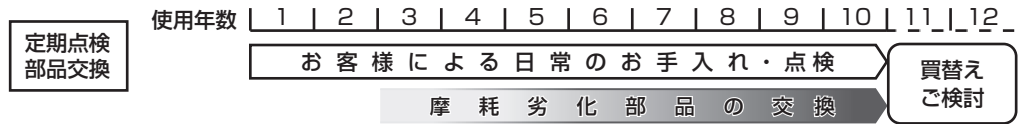
保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。
摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考慮、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)



日頃のお手入れについてはP21~25、定期的な点検についてはP26をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
摩耗劣化部品の例
バルブ開閉ユニット・逆止弁(逆流防止弁)・シャワーホース・レバー(ハンドル)・網(ストレーナ)・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP28~29を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
 - 訪問希望日
- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:30 (土日祝除く)
ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>

<無料修理規定>

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
 - ★補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。
 保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
 お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
 本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間 (お買上げ日/お取付け日から)
	本体	2カ年
お買上げ日 (お取付け日)	年 月 日	
お客様	お名前	様
	住所	
	電話 ()	
販売店 工事店	店名 住所	
	電話 ()	

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
 カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
 受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
 ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>